

鳥取市の防災への取り組み

# 私たちのまちの防災は



今年も、台風が発生しやすい季節がやってきます。

昨年は、相次ぐ台風の襲来により、全国各地で大雨や強風による災害が発生。鳥取市でも、床下・床上浸水や、土砂崩れなどに見舞われ、市民生活に影響を及ぼしました。

鳥取市では、台風、集中豪雨、地震など、もしものときの災害に備え、合併後新たな「鳥取市地域防災計画」の策定に取り組んでいます。

そんな中、福部小学校6年生の山根大生さんと、醇風小学校6年生の山根有貴さんが、夏休みを利用して、鳥取市の防災について勉強しようと市役所にやってきました。



昨年の9月の台風21号で増水した千代川行徳で観測した最高水位は、戦後3番目となる6<sup>時</sup>15<sup>分</sup>を記録。

写真提供：国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所



野球大好き少年の山根大生さん（右）は、4番サードで福部小学校野球クラブの中心打者。また、同小学校のドッジボールチームのメンバーで、全国大会出場が決まるなど、大活躍中の6年生。同じく、醇風小学校6年生の山根有貴さん（左）も野球が大好き。醇風小学校野球クラブのセンターで6番バッターの有貴さん。時にはクリーンナップを打つことも…。